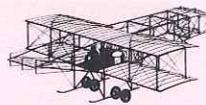




ロータリー：変化をもたらす
2017～2018年度 R.I.テーマ

2017.7～
2018.6

RI会長
イアン H.S. ライズリー
ガバナー
細井保雄



日本の航空発祥の地「所沢」



R.I.第2570地区 第3グループ
所沢東ロータリークラブ

週報

2017年11月30日

第1326回例会 PROGRAM

1. 点鐘(会長)
2. ロータリーソング斉唱
3. 来賓紹介(副会長)
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 委員会報告
8. 記念祝福
9. スマイルボックス
会員卓話「青少年活動事業」
ライラ委員会委員 上園俊樹会員
青少年交換委員会委員
中島洋志会員

本日の記念祝福

《結婚記念》林 壽一 日野義弘 新倉良之

出席報告

月日	総数 41(免除者 16)	出席	MU	%
11/30	41			
11/16	41	41		100

例会日

当番

プログラム

11/30(木)	木曾	会員卓話「青少年活動事業」 青少年交換委員会委員 中島洋志会員 ライラ委員会委員 上園俊樹会員
12/7(木)	北村	年次総会 上半期事業報告
12/14(木)	肥沼	「私たちはもっと輝く力強く社会へ」 入間わかくさ高等特別支援学校 森屋典久様
12/21(木)	親睦	親睦夜間例会「クリスマス会」
12/28(木)	休会	

第1325回 例会 11月16日

【会長挨拶 飯田 政義】



《ご主人・ご夫人誕生祝福》

皆様こんにちは。本日の卓話講師であります竹山学さん、久喜青年会議所理事長、岡安さん他の皆様、後ほど卓話を宜しくお願い致します。

先週は日帰り旅行に沢山の皆様のご参加を頂き、有難う御座いました。ご家族9名の参加誠に有難う御座いました。

リニア見学センターに行きまして、505キロメートルのスピードで走る車両は、カメラで撮影するには早すぎてとても大変でした。

フルーッパーク富士屋ホテルでは、甲府を一望出来てまるで外国にきたような景色であり、とても感動いたしました。

そして東武鉄道の創立者である根津記念館に行き、そのあとには中島前会長のお友達の白百合ワイナリーへ行きました。社長のワイン作りの説明を聞

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるか どうか



ROTARY CLUB
OF
TOKOROZAWA EAST

●例会日：毎週木曜日(12:30～13:30)
●例会場：ベルヴィ ザ・グラン
●住所：所沢市星の宮1-3-5
TEL 04(2923)4122

●事務局：所沢市星の宮1-4-17
TEL 04(2928)6363
FAX 04(2928)6369
●E-mail: info@te-rc.com
●H P: http://www.te-rc.com

会 長 飯田 政義
幹 事 秋場孝三郎
会報広報委員 新倉 良之

きました。ワイン造りは意外と簡単なのに呆気にとられました。だから大変なのかなとも思いました。

皆無事に自分で詰めたワインを土産に、帰宅の路に着きました。

今回の旅行では、親睦委員会の皆さま大変お世話になりました。良い企画をしていただきました、企画委員会の皆様に感謝申し上げます。

11月12日 日曜日市内5クラブ共同で行っている高齢者支援事業プロジェクトに対しまして、所沢市より善行者表彰として私が5クラブを代表して頂いてきました。

今晚5クラブ会長幹事会がございましてその席で報告してまいります。

今後5回に分けて森三郎様のお話をさせていただきます。

森三郎様は、1921年3月5日寄居町に生まれる。

京都大学法学部卒。大蔵省、浦和税務署署長、日本専売公社広報課長、総裁秘書役、ニッカン工業(株)常務取締役等を経て退任。陶芸家、神官。連句に造詣が深く、茶道などの日本文化への理解も深い。

1991年度第2570地区ガバナーです。

第一回「孤独という地獄がある」を紹介します。

卓話「子供食堂について」

栗橋保育園園長 公益社団法人久喜青年会議所
副理事長 竹下 学 様



みなさんこんにちは。

私は、本年度久喜青年会議所第40代理事長を務めます岡安正知と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

私共「みんなのいえ」という事業を行わしていただいております。40周年を迎える中で、どのようなことをしたら地域の人に還元できるか、地域の人のためになるかということを考えさせていただきました。周年事業は1回のイベントで終わってしまうことが多かったのですが、継続した何かができないかということを考えさせていただいた中で、この事業を始めることになりました。

地域によく「子供食堂」というものがあるのですが、子供食堂の以外にもその中で子供たちに勉強を教えたり、地域の人と交流できる場所というものを作らせていただき共生食堂として「みんなのいえ」という事業に致しました。

まだまだ足りない部分もありますし、至らない点も多いのですが、しっかりまずは3年間続けさせていただくということをお約束し、いろいろな方にお話をしているところであります。埼玉新聞、東京新聞、毎日新聞、JCOM等に取り上げていただいております。どうしても青年会議所はまだ地域に浸透していない部分がありまして、いろんなメディアを活用しながら「青年会議所はこういうことをやってるんだ」ということをアピールしているところであります。

「みんなのいえ」についての詳細は、本年度実行委員長でもあります竹下学よりご説明させていただきます。

私は、公益社団法人久喜青年会議所本年度副理事長をお預かりしてます竹下学と申します。

まずは久喜青年会議所の自己紹介をさせていただきます。

埼玉県久喜市を中心に、白岡市、宮代町の2市1町を活動エリアとしている団体でございます。主に20歳から40歳の若者、青年経済人が集った団体でございます。自らが暮らしたり仕事をしたり、地域に恩返しをする意味で、まちづくり事業・青少年育成事業・個人の資質を向上させる人づくり事業等を行っております。

代表的な久喜青年会議所の事業としましては、久喜市民まつりという大きいお祭りがあるのですが、その中で地域の飲食店さんに久喜の名物メニューを募りグランプリを決める「お茶碗グランプリ」、子供たちに諦めない心を育てる「42.195キロ徒歩の旅」という一泊二日で小学校一年生が泣きながらゴールするという名物企画や、地域の方々の資質の向上を目的とした各種セミナーを行っております。

活動は基本的には、単年度制を取っておりまして、1月1日付けで役職が変わっていきます。継続的に

地域にインパクトを与えることが難しいという問題を抱えておりました。それを払拭するため、近年はビジョンを掲げ、直近5年間の目的を掲げて活動しましょうということで運動を展開しております。

ビジョン2017「夢や希望に満ちた地域とは 市民一人ひとりが 明日への目標と 将来への確かな可能性を信じ(自立) 優しさに包まれ 支え合う幸せを感じる(共助) ことが出来るまちである」は、本年12月31日までに我々が達成するビジョンであります。

ところが達成が難しく、42.195キロを歩いた子供たちがその後どういふふう成長したのか分からない、「お茶碗グランプリ」で優勝したメニューがその後どのように地域の名物になったのかが分からない、という問題を抱えておりました。

本年度理事長、岡安正知が掲げたスローガンが「Innovation ~変わる事への挑戦~」です。今まで我々が漫然と繰り返していた運動から、一步innovationを起しましょう、変わる事に挑戦しましょう、といことで運動を展開することになりました。奇しくもロータリーインターナショナルさんのテーマが「変化をもたらす」で、昨今の社会情勢が我々まちづくり団体や地域に奉仕する団体に変化を求めているのではないのかと、今日思わせていただきました。

ビジョン2017と本年度スローガンを複合的に解釈して、始めることにしましたのが「みんなのいえ」でございます。

きっかけは、夜の11に時半から12時に団地の小さな公園で小学校4年生ぐらいの男の子と小学校に入っているかいなかぐらいの女の子が二人で並んでパンをかじっていました。話を聞いてみると、お母さんまだ帰って来ないから二人で自由に過ごしていなさいと言われていたと答えました。部屋の中にいたらと言ったら、中だと余計寂しくて妹が泣いてしまうと言われました。大人の事情で公園の片隅で深夜にパンをかじらなければならない子供がいることを、久喜青年会議所のメンバーに話したところ、40周年で先輩方から協賛金を募る機会があり、そういう子供たちに何かコミットする事業が出来ないかということで、今回「みんなのいえ」を始める事になったのです。

いろいろお話を聞くと、冬休みを終えて小学校に登校してくる生徒の半数以上が体重を減らしてくるという学校がありました。それは、家で十分栄養が取れていないのではないかと、いろいろな理由があると思いますが、対応が必要であると感じられました。インフルエンザが流行って出席停止となっても、インフルエンザの子供が学校にきてしまうという話を聞きました。理由はお腹がすいて、給食を食べさせてほしいということで、校長室で給食を食べ家に帰るといふ状況があると聞きました。



【場所】
久喜市上内 886
(旧わしのみや第二保育園)
毎週金曜日開催
(18:00~22:00)
※要予約(お申し込みは電話にておこないます)

無料 週1回金曜日
毎週金曜日開催

みんなのいえ
わたがいの園を
みんなで楽しく食べようよ

JCI
公益社団法人久喜青年会議所
久喜市上内4丁目1-2-2 久喜市役所5階509号
TEL 0483-21-4951 FAX 0483-21-4933
E-Mail #fzmk@uajpc.com
副都 林 啓

「みんなのいえ」は、旧鷺宮保育園の空き家を改修したもので、共生食堂、学習支援、地域交流の3つの機能を持った施設です。

原則毎週金曜日の6時から10時までオープンとなっております。

食堂機能は、久喜青年会議所のメンバーと地域のボランティアの方々に運営しております。子供食堂ネットワークからの提供や、地域の方々からの食材の寄付をいただいております。調理師の免許を持ったメンバーが献立を考えたり、私の保育園におります栄養士に栄養のバランスをお願いしております。

地域コミュニティを作り上げ、子供たちの成長を見守れる社会のため、地域の方が自由に出入りできる食堂を目指しております。

1回の参加人数が60名ぐらい、延べで1,200名ぐらいの参加をいただいております。これは全国的に見ても桁外れの参加人数で、これが多くの取材をいただいた要因なのだと思います。我々の地域が多くの問題を抱えているということでもあることの証左でもありますので、手放しで喜んではいただけません。参加人数が0になることが目標であります。共生食堂というスタイルを貫いて、地域コミュニティを発展することで問題解決を図れればと思うところであります。

学習支援機能は、子供たちが宿題を持ち込んで、その宿題に○を付いたり、学校で分からないところがあればメンバーが答えてあげるという形で学習

ニコニコボックス 第1325回例会 11月16日

支援を行っています。今後は、メンバーに塾を経営しておる者がおりますので、継続的にコミットできる新しい学習メソッド取り入れてはどうかと、議論を交わしているところであります。

地域交流機能は、今は小学校間の垣根を越えて交流する場となっています。今後は多くの世代を巻き込んで、新たな地域コミュニティの創出を目指しているところでございます。

6月にオープニングフェスタを開催いたしました。久喜市長をはじめ多くの来賓の方をお招きし、小学校の校長先生もお越しになり、共生食堂や学習支援が地域で求められていたのかということをおもっています。

この事業で、全国青年会議所の本年度アワード最優秀グランプリをいただくことができました。食堂に学習支援や地域交流を加えたこと、空き家をリノベーションしたということが評価されました。

今後の運営として、今年度は久喜青年会議所が運営し、来年はNPO法人を立ち上げ、地域の方、先輩の方、メンバーが入って運営をして、段々現役メンバーは手を引いて地域で運営ができることを目指しており、3年間を目安に関わって運営しております。

ご清聴ありがとうございました。

飯田 政義 先週の日帰り旅行は内容が豊富で一日を楽しく過ごしました。親睦委員会、例会企画委員会の皆さまのおかげであります。大変ありがとうございました。

上田 福三 明日から来週の水曜まで宮古島へ行って来ます。

長内 英俊 昨日は林会員主催のコンペに参加、馬も当て、秋場会員にも勝ち、大変うれしい一日でした。林会員始めご参加の皆さま、お世話になりました。本日の卓話、久喜青年会議所の皆さまどうぞよろしくお願い致します。

木曾 晴夫 移動例会は晴天のもと大成功でした。ニコニコです。

巽 正典 おかげ様で元気を取り戻すことができました。昨日はゴルフを楽しみました。

平岡 栄一 先日の日帰り旅行は告别式があり欠席させていただきました。

森安 常義 ようやく落ち着きましたが、なかなか元に戻りません。昨日の楓コンペで優勝しました。ニコニコです。

本日合計 18,000円 累計額 329,000円

日帰り家族親睦旅行 <記念写真第二号> 11月9日(木)

山梨県立リニア見学センターと根津記念館・生ワインボトル詰め体験



*ワイナリーにて